



赤間っ子だより



7月号

令和2年7月1日

宗像市立赤間小学校 校長 早川 由洋

「文・安」両立！

6月1日の学校全面再開から1ヶ月が経過しました。社会的には、県をまたぐ移動が解禁されたり、休業要請が解除されたりと経済活動をはじめ「日常」が戻りつつあります。その反面、北九州市の公立学校でクラスターが発生し、当該学校等で教育活動の再開が遅れたことも記憶に新しいところです。生活の日常化は進めつつも、まだまだ新型コロナウイルス感染症の予防には厳重な注意を払わなければならない状況です。

本校においても、学習の遅れを取り戻し身につけさせなくてはならない学力をしっかりと定着させる「文」と、学校から感染者を出さないとともに子どもたちの心と体の安定を図る「安心・安全」の「安」を両立させることを重視し、学校再開後1カ月間の教育活動にあたって参りました。子ども達の様子を見ておりますと、徐々にではありますが学校生活のペースを取り戻しつつあるようです。その慣れが感染予防の面ですべて出してしまうないように、定期的に子どもの意識を引き締め直しているところです。

本来ならば、プールから水しぶきとともに子どもたちの活気ある声が聞こえてくる時期ですが、今年度は水泳学習のみならず様々な行事にも影響が出ることは必至です。例年のようには実施できない行事もあれば、内容や方法を大きく変更して実施する行事もあります。これも、子どもにとっての教育効果と感染症予防とのバランスを考え「文・安両立」を判断の基準としていきます。

これから更に暑くなり、熱中症予防にも細心の注意を払わなくてはなりません。今年の夏は、マスク着用や教室換気など熱中症予防の観点からみると負の要素もあります。夏休みが短縮されることも鑑み、子どもの健康管理には、学校と家庭の双方でしっかり取り組んでまいりましょう。

赤間っ子検定 再開！

昨年度末に実施予定だった4年生赤間っ子検定（都道府県バージョン）が、休校に伴い実施できていませんでした。5年生となった子どもたちから、検定を受けたいという申し出もあり、6月末に検定を行いました。4年生の頃から、都道府県名と県庁所在地を一生けん命覚えてきた子ども達。自信をもって堂々と答える姿に学びへの意欲を感じました。



♡人権の花ひまわり♡

福岡法務局と福岡県人権擁護委員連合会が、県下の小学生を対象に取り組んでいる人権の花ひまわり。ひまわりの花の栽培を通して、協力することの大切さや命の尊さを感じ取り、やさしい思いやりの心を育てることをねらいとしています。

今年度は、赤間小学校がその当番校となっており、3年生が全校を代表してひまわりの花を育てます。6月11日に宗像市人権擁護委員の皆様から3年生へひまわりの種が贈呈され、その後、各学級で植え付けが行われました。今年の夏は、赤間小学校にたくさんのひまわりの花が咲くことでしょう。その大輪の花と同じように、赤間小学校の子ども達一人一人の心の中にもおもしろい大きな花が開くことを願っています。



・・・7. 8月の主な行事予定・・・

日	曜	行 事	日	曜	行 事
行事予定は紙面にて お伝えしています。					